

「養身有為」

丈夫な体をつくり、常に勉学を怠らず、
世のため人のために役立つ、実行力のある人になろう



「『思いやり集会』でのお話」

おはようございます。今日は、「思いやり集会」ということで「人権」についてのお話をします。

太田小学校では11月26日～12月7日までを「思いやり月間」として、「人権」についての学習を特に力を入れて行います。

「人権」ってとても難しい言葉ですが、わかりやすく言うと、全員が「生まれた時から持っている、幸せになる権利」と言えると思います。



誰もが幸せになるために生まれてきました。不幸せになるために生まれてきたのではありません。学校に来て、楽しく勉強して、友達と仲良く遊んで、力一杯体を動かして、おいしい給食を食べて・・・そういう毎日毎日の、当たり前のことを、誰もが普通に送れるということだと思います。

そして、自分と同じように、周りの人も幸せになる権利を持っているわけですから、それを邪魔してはいけません。難しい言葉で言うと、「人権侵害」と言うことになります。簡単に言うと、「幸せになることを邪魔をする」ということです。

皆さんの生活で言うと、例えば、人をたたいたり、殴ったり、蹴ったりして、傷つけることは、幸せの邪魔です。体を傷つけることも「人権侵害」ですが、心を傷つけることも、もっと悪い「人権侵害」です。



また、私たちの周りには、嘘や、うわさ話や、いい加減な話が沢山あります。それをよく確かめもしないで一緒になっておもしろがって、悪口を言ったり、うわさをしたり、人のいやがることをしたり、「いじめ」や仲間はずれなんて絶対にしてはいけません。友達が傷つくことを、「したり」「言ったり」してはいけません。皆さんには、自分の目で見たこと、耳で聞いたこと、経験して確かめたこと、そういう本当のことだけを信じる人になってほしいです。また、本当のことであっても、それを言うと相手が傷つくことも、言ってもいけないこともあるかと思いますが、自分の幸せと、相手の幸せをいつも考えられる人であってほしいと思います。

ところで、皆さんはお家の人や先生から「自分がされていやなことは、人にやってはいけません」と言われたことがありますか。この言い方は、地球を半分に分けたとき、中国やインドや日本など東の方の国で言われている教えです。今から2500年前の中国の孔子という学者の言葉です。

では、アメリカやヨーロッパなどの西の方の国はどういうかという「あなたのしてほしいことをどんどんしてあげなさい」という言い方をします。これは2000年くらい前のイエスキリストの教えだそうです。



ここで太田小学校の皆さんにお願いがあります。皆さんは東の方の考えと、西の方の考えを、両方実行できる小学生になってほしいと思います。つまり「人にされていやなことは絶対しないで、自分がしてほしいことをどんどんやってあげよう」という生き方をしてほしいということです。

校長先生は、是非、人を思いやれる、心の優しい小学生になってくれることを願っています。これで、「人権の話」を終わりにします。